

## 会 議 録 (要点筆記)

- 1 会議名 令和3年度 第1回瑞穂町地域農政推進協議会
- 2 日時 令和3年10月20日(水) 午後3時30分から午後4時30分
- 3 場所 瑞穂町役場 4階全員協議会室
- 4 出席者 上野 勝、臼井 順央、榎本 勝昭、細渕 浩昌、中垣 浩光、  
桐原 伸彦、古川 英夫、増子 誠一郎、久保田 聡、岩本 千絵、  
近藤 剛、井垣 貴洋
- 5 欠席者 角田 由理子、久保田 晴利、青木 一幸
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 (1) 地域農政推進協議会分科会(認定農業者等審査分科会)報告について  
(2) 農業次世代人材投資事業(経営開始型)の承認について  
(3) 今後の地域農政推進協議会の運営について
- 8 配布資料 資料1 瑞穂町地域農政推進協議会分科会(瑞穂町認定農業者等審査分科会)の結果について(報告)  
資料2-1 農業次世代人材投資事業(経営開始型)の審査について  
資料2-2 農業次世代人材投資事業説明資料  
資料2-3 農業次世代人材投資事業(経営開始型)のチェックシート  
資料2-4 青年等就農計画認定申請書  
資料2-5 農業次世代人材投資事業(経営開始型)費補助金申請追加資料  
資料3 今後の地域農政推進協議会の運営について  
資料4 町内在住の認定農業者・新規就農者を対象に実施したアンケート調査結果について(報告)

### 9 会議内容

- (1) 地域農政推進協議会分科会(認定農業者等審査分科会)報告について  
(事務局説明)

はじめに、令和3年5月31日に、瑞穂町在住の1経営体の認定農業者への承認についての分科会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面で開催した。結果は、賛成多数で承認することに決定した。

次に、令和3年9月29日に、瑞穂町在住の1名の認定新規就農者への承認についての分科会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面で開催した。結果は、賛成多数で承認することに決定した。

(質疑等・意見交換)

上野会長

質疑等ございましたらお願いします。

委員

(意見なし)

## (2) 農業次世代人材投資事業（経営開始型）の承認について

(事務局説明)

農業次世代人材投資事業（経営開始型）の審査については、令和2年度までは「東京都担い手育成総合支援協議会」で審査を実施してきたが、手続きの迅速化などの観点から、令和3年度から区市町村で審査を実施し、審査結果報告書を東京都に提出する形となった。瑞穂町の場合は、農業次世代人材投資事業の申請者が少ないことから、瑞穂町地域農政推進協議会の所掌事項に位置づけることとしたので、今回の議題に挙げさせていただいた。

申請者から令和3年10月1日に農業次世代人材投資事業（経営開始型）の申請書の提出があったので、事前面接を実施し、農業次世代人材投資事業（経営開始型）チェックシートについて確認した。日時は令和3年10月11日（月）午後1時30分から2時40分まで、場所は瑞穂町役場4階会議室 会議室4-1で行った。参加者は農業次世代人材投資事業（経営開始型）サポートチーム3名と、東京都農業振興事務所職員1名、事務局3名、申請者で実施した。

事前面接を実施したメンバーの所見は、資料2-3のとおりである。

(質疑等・意見交換)

上野会長

質疑等ございましたらお願いします。

久保田聡委員

資料をみて、また、事前面接に参加した職員からの報告を受け、承認することに問題ないと思う。

上野会長

ほかに質疑はないようなので、本件について、申請のとおり承認することに異議ございませんか。

委員

(異議なし)

上野会長

異議がないようですので、議題（２）は承認されました。

（３）今後の地域農政推進協議会の運営について

（事務局説明）

令和２年度は瑞穂町農業振興計画策定業務がありましたので、計６回開催いたしました。令和３年度からは今まで通り年２回開催とする。主な内容は地域農政推進協議会分科会報告、農業次世代人材投資事業（経営開始型）の審査、瑞穂町農業振興計画進捗状況報告、農業振興施策意見聴取になる。

また、本日町内在住の認定農業者・新規就農者を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。「瑞穂町農業振興計画」の基本施策のなかにある、認定農業者・新規就農者への支援として「町独自の新たな支援策の検討・導入」を設定しており、新たな支援策について、具体的にどのような支援が必要か、認定農業者や新規就農者の皆さんがどのような考えをお持ちなのか、今後の方向性を検討するための基礎資料とするために実施したもので、調査結果は対象者数３９経営体、有効回収数２６経営体、有効回収率６６．７％であった。結果は２．農機具（トラクターや保冷库などの農畜産業を営むのに必要な機械類）の整備に必要な経費に対する補助事業が一番多く、次は３．環境保全型資材（生分解マルチなど）や有機質肥料など環境に配慮した農業資材の導入経費に対する補助事業であった。

（質疑等・意見交換）

上野会長

質疑等ございましたらお願いします。

委員

〔質疑等無し〕

以上